

# 就農という選択

「農業」を仕事に選んだ理由  
そして、その魅力



これまで農業は、「仕事がつい」「稼げない」などと言われることもありました。しかし、それは真実なのでしょう。

そこで今回は、深谷市で活躍する農家のかたがたに、農業を仕事に選んだ理由やその仕事の魅力についてお話を伺いました。また、農業に興味を持っているかたや、これから農業を始めたいと思っているかたに役立つ情報をお届けします。

かなえたい夢は限りなく広がります

## 飲食物から農業へ転職

就農して4年目になります。その前は飲食店で6年間働いていました。実家は農業を営んでいます。10年前には農業を仕事にするという考えは全くなかったですね。飲食店での仕事はとても楽しかったのですが、食材として仕入れる野菜に不満を感じるようになってきました。そのうち「いつそ自分で作れたら」と思い、農業について調べていると、実は自分が考えていた以上に、農業についていろいろできるんじゃないかと思う

ようになりました。それが就農のきっかけです。

実際に就農して、農業はすべての産業の基礎であると思いました。例えば野菜を加工したり販売するのも、野菜の作り手がいるからこそできるものです。だから自分で物を作ることができれば、加工や販売なども自分がやりたいようにできます。いろいろなことにはチャレンジしたいと思う私にとっては願ってもない職業でした。

## 休みも取れるし稼げる仕事

就農して大変なことはありません



かみやまたつお  
神山達男さん(29歳)【伊勢方】  
若手農家集団『ふかや4Hクラブ』会長

## 深谷の豊かな土が育てた農畜産物

ねぎだけじゃない  
深谷  
ブランド

ねぎ以外にもこんなにある！トップクラスの農畜産物

市内では、特産である深谷ねぎをはじめ、ブロッコリーやキュウリなどの野菜、ユリやチューリップなどの切り花や畜産に至るまで、多くの農畜産物が、全国でも有数の生産量を誇っています。



農産物	順位
ねぎ	収穫量：全国 <b>1</b> 位
ブロッコリー	収穫量：全国 <b>2</b> 位
キュウリ	
ユリ(切り花)	生産量：全国 <b>1</b> 位
チューリップ(切り花)	生産量：全国 <b>2</b> 位



農畜産物	順位
スイートコーン	収穫量：県内 <b>1</b> 位
キャベツ	
トマト	
ダイコン	
ナス	飼養頭(羽)数・ 飼養戸数ともに 県内 <b>1</b> 位
乳用牛	
肉用牛	
豚	
採卵鶏	

が、自分のやりたいことができるので、いくらはないですね。農業には「休みがない」というイメージを持つ方もいると思います。確かに育てる作物によっては休みが取りづらいこともあるかもしれませんが、でも裏を返せば、自分が求める生活スタイルにあった作物を作ることで解消できることだと思います。

私の場合は、8月は比較的休みが取りやすいので、この時期にまとめて取ります。そして、社員のように働く時間も決まっています。きちんと就業時間が決まっていたほうが、働きやすい職場になると思っています。

また、「農業は稼げないのでは」と言われますが、私はそうは思いません。市場が欲しがっている作物をどれだけ作れるか、その期待に応える仕事をすれば、決して稼げないということはないと思っています。

## 当たって砕ける！

### 失敗を恐れず常に前へ

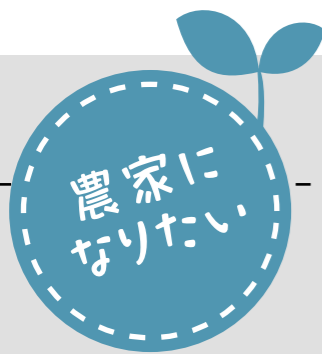
これからは買ってもらおうのを待つだけではなく、自分から攻めていくことも必要だと思います。4Hフ



▲4Hクラブのメンバーと、農家レストランで提供する料理の試作を重ねています。

ラブの仲間と一緒に販路の拡大に力を注いでいます。また、私の前職での経験を生かして、自分たちの作った農作物を自ら料理して提供する「農家レストラン」の実現に向けて奮闘中です。農業の持つ可能性は本当に大きいので、かなえたい夢は限りなく広がります。もちろん失敗することだってあります。でも常に「当たって砕ける」の気持ちでやっています。そのへんが「じゃないと、何も前に進みませんからね」。

だから、これから就農する人も、ぜひ失敗を恐れず、夢と欲を持って農業の世界に飛び込んでほしいと思います。



## 就農の疑問に答えます!「就農Q&A」

「就農に興味はあるけど、どこに相談すればいいの?」「就農するために活用できる支援制度はあるのかな?」そんな就農の疑問に答えます!

- 就農や農地に関するお問い合わせ  
就農に関すること・・・農業振興課 (☎ 574 - 6648)  
農地に関すること・・・農業委員会 (☎ 574 - 6663)

### 農業を仕事として始めたいけど、どこに相談したらいいですか?

農業振興課で就農相談を行っています。就農の形はひとつではありません。就農相談をすることで、さまざまな就農スタイルや就農への心構えを確認することができますし、必要な情報収集もできます。

### 今まで農業をやったことがありません。農業を教えてください。これはできますか?

農業に関する技術や知識を学ぶためにはいくつか方法があります。例えば、農業大学校などの教育機関で学ぶ方法や、農家で直接指導を受けたり農業法人に就職して働きながら技術や知識を身につける方法などもあります。詳しくは就農相談をご利用ください。

### 農地を買ったり借りたりするにはどうしたらよいのですか?

農地を耕作目的で取得するには、農地法第3条の許可を受ける方法と農業経営基盤強化促進法を利用する方法があります。まずは農業委員会へご相談ください。

### 就農するために活用できる支援制度はありますか?

経営が不安定な就農直後の所得を確保する給付金や、機械などを購入する際の補助制度があります。いずれの制度も、給付や補助対象となるには一定の要件を満たしている必要があります。事前に農業振興課へお問い合わせください。

#### ①青年就農給付金（経営開始型）

新規就農されるかた(原則45歳未満)に、農業を始めてから経営が安定するまで最長5年間、年間150万円を給付します。

給付には要件があります。事前に農業振興課へお問い合わせください。

#### ②農業用生産基盤整備等活動補助金

機械の購入や施設の整備などに対する補助制度です。新規就農者が補助を受けるには、県の就農計画の認定を受けるなど一定の条件があります。

#### ③就農計画の認定（埼玉県）

自分自身の就農の時期や経営の安定する時期を想定し、営農タイプ、作目、経営規模、研修計画、資金計画などの就農のプラン(=就農計画)を明確にし、知事の認定を受けたかたを『認定就農者』といいます。認定を受けると関係機関からの指導や就農支援資金の借り受けなどができます。

**育てる楽しさに目覚める**  
農業は、ビジネス。でも計算では計れない、数字でない世界。でもここが魅せられるところ。私は農家ではないサラリーマン家庭で育ち、祖父母は農業に携わっていましたが、私自身は農業の手伝いをしたことはありませんでした。  
就農のきっかけは、花園中学時代、選択授業で菊の栽培を体験したこと。これに『育てること』の楽しさに目覚めたのです。

農業高校に進学して生物生産技術科を専攻、その後農業大学の露地野菜コースに進みましたが、いざ卒業の段階になると、このまま農業の道に進むべきか悩みました。農業に携わる仕事は、農家だけではないから。いろいろな迷いでしたが、まずはやってみようか、という気持ちで『自由な感じ』に憧れて、今の仕事を選びました。  
就農後は、祖父の下で農業の基礎を1年半学びました。農作業が続くと、モチベーションの下がる

**地域でブランドを育てる**  
生でも食べられる味来は、この榛沢地区で特に生産が盛んです。まるでデザートのようにゴージャスな味。この不安を払しょくしてくれたのは、先輩農家のサポートでした。今も気軽に相談に乗ってくれ、的確なアドバイスももらえて、本当に助かっています。こうした周囲の支えがあるからこそ、私のような若い農家でも、安心して農業を営むことができると感じます。



▲トウモロコシ“味来”の収穫は今が最盛期です!

## 『生きているもの』を扱う楽しさ、それを知って農業にのめり込んだ



井上巧也さん(26歳)【後榛沢】

こともありません。けれど、『生きているもの』を扱う楽しさとドキドキ感、そしてそれが成長し収穫するときの喜びを知り、どんどん農業にのめり込んでいったのです。

### 先輩農家のサポートで不安を払しょく

22歳の時、「独立して自分で経営してみよう」と、祖父が知り合いに土地を借りてくれ、そこでトウモロコシの味来とブロッコリー栽培にチャレンジしました。最初は不安だらけで、ちゃんと収穫できるのか最後まで心配の連続でした。

トウモロコシを、地域一体でブランドとして大切に育ててきました。そして味来は、全国に通用するブランドとして高い評価を得ています。そういった作物を作れることは、経営の安定にもつながっています。  
現在、農協の青壮年部に所属し、地元の榛沢小学校児童のために、味来の種をまいて成長を管理し、子どもたちに収穫体験の場を提供しています。こうした収穫体験を通して、私がそうであったように、今の子どもたちも農業の楽しさに気付いてもらえるとうれしいですね。